

第1部門 私たちがはじめた、一人ひとりをたいせつにするケアの取り組みで変わった施設ケア(初級編)
神戸学院大学 11号館4階 114A講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
12:00～12:25	①	特養(新型)	ゆうらぎ	兵庫県
		満足して頂けるショートステイを目指して		
		ショートステイを利用してまた来たいと思えるようなサービスを実現するためにご利用者、ご家族の声を反映させ、やすらぎのあるひとときを安心・安全に過ごせるショートステイを目指した取り組みを報告する。		
12:25～12:50	②	老健	リハリゾート青葉	神奈川県
		個別ケアにおける介護職員の医療知識とケアについて		
		様々な疾病を抱えた方が入所される今、個別ケアを行っていくうえで介護職員として何を必要とし求められているか、しなければならぬのかを、医療依存度が高いご利用者が入所されるフロアでの取組みを報告する。		
12:50～13:15	③	特養(新型)	ぬく森	愛知県
		業務改善 -利用者様と共に過ごす時間を増やすために-		
		ショートステイの荷物チェック表の記入方法の簡素化と、個別ファイル作成による情報収集時間の短縮により、利用者様と過ごす時間を増やす。また増えた時間でできたことについて。		
13:15～13:40	④	老健	中部台ケアセンター	岐阜県
		ひとりひとりゆとりある生活をめざして		
		慢性的な人員不足や、介助量増加により、業務優先となり、一人一人をみつめる個別ケアではなく、従来型の集団ケアになりがちであった。どうしたらゆとりある個別ケアが行えるか。業務スタイルの見直しを行った。		
13:40～14:05	⑤	特養(既存)	一本松荘	熊本県
		「アットホーム」～ショートステイでの安心とくつろげる空間作り～		
		26年度よりユニット型ショートステイを導入。利用者様より「また来ます」、「ホテルのごたる」等の声が聞こえてきた。私達もこの声を大切に、利用者様に寄り添い、また利用したいと言って頂けるよう取り組んできた事を紹介する。		
14:05～14:20		休 憩		
14:20～14:45	⑥	地域密着型特養	うぐいす荘	兵庫県
		個人の思いを叶えることから始める「楽しみを感じるケア」		
		「もう一度、トマトを栽培したい」希望、目標を持つことで、入所以来ベットから離れようとしなかった生活が一転し、更なる目標へ。本人・家族・施設職員が力を合わせ「思いを叶えるプロジェクト」を立ち上げた。		
14:45～15:10	⑦	老健	リハリゾート青葉 ユニット館	神奈川県
		気圧変化から分かる介護事故予防への取り組み		
		気圧の変化は果たして高齢者の事故を引き起こす要因なのかデータをもとに分析を行った。		
15:10～15:35	⑧	ケアハウス	福光園 ケアハウス老楽園	岩手県
		食べなきゃあぶない -ここからみえてきたこと-		
		生涯担当として出会った2年3か月。入居後、体重25kgに減少。食べて頂けるよう取り組むなかでの悩み、気付いたことなどを発表させていただきます。		
15:35～16:00	⑨	老健	まなべ	愛媛県
		「よいよ気持ちええ」の声が聞きたくて ～従来型からの脱却～		
		従来型体制で実施していた入浴に、入所者及び職員が不安や疑問を抱くようになり、入浴体制について検討し従来型からの脱却に取り組んだ。		
16:00～16:25	⑩	特養(新型)	野田の郷	鹿児島県
		食から見直しHAPPY LIFEへ -本人様の思いを大切に-		
		入居前、むせ込みが強く食事形態が全粥・極刻み食にて、食欲が低下気味であられたH様が、スタッフのお弁当を覗きこまれ、「玉子焼きが食べたいなあー」と言われた一言から始まった本人様とご家族の思いに添ったくらしへの取り組み。		
16:25～16:40		休 憩		
16:40～17:05	⑪	特養(既存)	健生園	岡山県
		水分ケアの取り組み ～取り組みから見えてきたY氏の本当の姿～		
		水分量、運動量の増加を行い、自立支援を行う。		
17:05～17:30	⑫	特養(新型)	ビハーラ十条	京都府
		私とSさんとの今までと、これから		
		入職まもない私が初めてケース担当をもたせてもらったSさんとの今までの関わりとこれからの課題。		

第1部門 私たちがはじめた、一人ひとりをたいせつにするケアの取り組みで変わった施設ケア(初級編)

神戸学院大学 11号館4階 114C講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
12:00～12:25	①	特養(既存)	健生園	岡山県
		H氏の日常生活の充実を目指して ～水分ケアをきっかけに～		
		水分ケアを通してADLの向上、介護者側の技術・知識の向上。		
12:25～12:50	②	特養(新型)	ユニットケア慶和園	北海道
		「つながる」尻別ユニットの取り組み		
		入職2年目の23歳・女性介護職員が自ユニットの取り組み(ご家族との関わり、ご利用者の座位姿勢、スライディングボードの活用など)を通じて、気づき、想い、感じた事を発表します。		
12:50～13:15	③	特養(既存)	ソエル花泉	岩手県
		「また来てもいいなあ」そんなショートステイを目指して		
		ご家族の都合等での利用が多いショートステイ……。ご利用者本人にとってどうなのか？せっかくお会いできたご縁を大切にしたい。取り組みはまだまだですが少しずつ変わってきたことを報告します。		
13:15～13:40	④	特養(既存)	なごみ	大阪府
		24時間シートに取り組んで ～チームで考えるお年寄りの暮らし～		
		特養なごみ独自の24時間シートを作成し、日々のケアに取り入れている。シートの作製と実践を通し、入居者さんのことをもっと知りたいという姿勢が職員に身に付いた。職員の意識と特養の暮らしの変化がそこにある。		
13:40～14:05	⑤	地域密着型特養	ビハーラまどか	熊本県
		たべたいもの		
		私たちは利用者の食に対する気持ちを考え、おやつ作り、昼食作りを始めました。誤嚥性肺炎の方は食事形態を変更するか考えましたが、それよりも食べたいものを食べてほしいと考えました。		
14:05～14:20		休 憩		
14:20～14:45	⑥	地域密着型特養	花いずみ	岩手県
		昔の自分を思い出して		
		昔を思い出して懐かしいあの場所に、あの頃の自分を探しに出かけたこと(取り組み)を発表いたします。		
14:45～15:10	⑦	特養(既存)	健生園	岡山県
		特別じゃない、AさんはAさんなんだ		
		ショートステイ利用者の徘徊に関して他職種、共働で行っている見守りや対応についての発表。		
15:10～15:35	⑧	特養(既存)	北勝園	茨城県
		独自の職員育成システムによる介護力強化の為の取り組み		
		独自の職員育成システムを基に、施設単独の職員育成にとどまらずグループ全体の「介護力」強化に取り組んでいる。その成果とこれからについての発表。		
15:35～16:00	⑨	特養(新型)	洛和ヴィラ南麻布	東京都
		ここの生活も楽しいよ ～退屈な生活から楽しみのある生活へ～		
		日常生活自立度の高いA氏は入所当時の施設生活に対し「他の人と話が通じない」という思いを描いていた。そんなA氏が施設生活に馴染んでいくために職員には何が求められるのか。職員が得た気づきについて発表する。		
16:00～16:25	⑩	小規模多機能型 居宅介護	グレイスフル浅山	愛知県
		個別ケアでココロオドル ～enjoy～		
		開設6年目を迎え、目指すべき小規模多機能住居介護事業所の姿として自立支援、介護予防を目標にかかげた中でお一人お一人のご希望に沿ったケアを行い、楽しみながら自立支援、介護予防ができるよう個別ケアに取り組んでいる。今回は個別ケアの取り組みについて発表する。		

第2部門 一人ひとりへの3大介護のあり方とその工夫(基礎編)

神戸学院大学 11号館2階 112C講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
		グループホーム	希望の家	兵庫県
12:00～12:25	①	排泄トラブルを尊厳を守りQOLの向上をめざすチームケアの実践		
		認知症の進行に伴い、排泄トラブルはデリケートな部分でQOLの低下を招くだけでなく、人としての尊厳にも係わる。環境を整え、利用者とスタッフが信頼関係を構築しQOLの向上をめざすチームケアの実践。		
12:25～12:50	②	地域密着型特養	なみき	滋賀県
		A様の1年間をふりかえって		
		21歳で統合失調症になり以来30年間病院でベッド上の生活をされてきた。なみきに入所されてからベッド上の生活を見直していき「人間らしい当たり前の生活を送ってほしい」という後見人様と家族様の想いを受け止めた取り組み。		
12:50～13:15	③	特養(新型)	ビハーラ十条	京都府
		一人ひとりにあった三大介護について		
		・三大介護とは何か? ・食事面、排泄面、入浴面のその方に合った方法や工夫について ・流れ作業というケア方式から個別ケア方式への移行 ・お客様主体のケアにおける三大介護とは? ・私にとっての三大介護とは? 伝えたいこと		
13:15～13:40	④	有料老人ホーム	ケアレジデンス水戸本館	茨城県
		難病と向き合う		
		パーキンソン病を患った対象者が施設にきた経緯、本人の思い、家族の思いを理解し、パーキンソン病と向き合いADLの向上を図り、より良い生活を送って頂くための取り組み。		
13:40～14:05	⑤	特養(既存)	西ノ京苑	奈良県
		「集団生活の場から、その人に合わせた暮らしの場になるには」		
		食事の提供の仕方、その人にあった排泄ケア。入浴日の決め方などを、お年寄りの声を聞き、お年寄りと同じ立場に立って考え、個々にあった暮らしをして頂く為に取り組んだこと、その中で感じたことを発表する。		
14:05～14:20		休 憩		
14:20～14:45	⑥	特養(新型)	ビハーラ十条	京都府
		N様の自然排便を目指して		
		便秘傾向で下剤を使用しコントロールしていたN様の自然排便を目指し取組んだ内容の発表と現在の排泄状況。		
14:45～15:10	⑦	特養(新型)	第2ジョイフル江南	愛知県
		当たり前に快適に ～人としてより良い排泄ケアを目指して～		
		トイレに行きたい！でも行けない。「自分だったら」と考えてみてください。人として守られるべき事とは何でしょうか？ 1、尊厳 2、安心・安全・安楽 3、本当のニーズ		
15:10～15:35	⑧	特養 (新型／地域密着型)	エバーグリーン	岐阜県
		【なんだか楽そう 寝姿のポジショニング】～取り組みから見たこと～		
		重度化する施設利用者様に少しでも安楽に、質の高い睡眠時間を送ってほしい、と言う思いから始めました。ポジショニングを実践したことで、日中の過ごし方表情に変化がみられ、職員の意識改善にも繋がりました。		
15:35～16:00	⑨	特定施設入居者 生活介護	ひびき。	福岡県
		理念でつながり1つに！(シタダからウエダを目指して)		
		日々に追われ、慣れ、埋もれ、考えや支援、言っていることとやっていることがバラバラの現実。どうしたら今を脱し変れるか、1つになれるか。そのきっかけは理念！皆で考えてきた1年半を振り返り、現実を変える一歩にしたい。		
16:00～16:25	⑩	特養(新型)	ジョイフル各務原	岐阜県
		よりよい睡眠を目指して ～生活リズムを整えよう～		
		昼夜逆転で夜間寝られないだけでなく食事中に寝られて摂取量低下があった。「1日中起きて夜は眠る」という生活リズムの改善をするため、夜間の“睡眠の質”について取り組みました。		

第3部門 “食”の工夫で目指す、その人らしい豊かな暮らし
神戸学院大学 11号館2階 112A講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
		特養(新型)	西ノ京苑	奈良県
16:40～17:05	⑪	お年寄りの生活を支える為に「食事作り」を始めて気づいたこと		
		委託業者の食事提供からユニットでの調理が始まりました。献立、買い出し、調理をお年寄りと共に行動したことでお年寄りの生活、職員の意識が少しずつ変わった事を発表します。		
17:05～17:30	⑫	老健	老健あんき	愛知県
		食べることの喜び ～経口摂取への取り組み～		
		原因不明の食思不振があり、胃ろうを造設した利用者様が経口摂取に取り組み再び食べる喜びを感じられるまでの支援を報告します。		
17:30～17:55	⑬	小規模多機能型 居宅介護	第二ともの家	滋賀県
		三食手作り料理と一泊旅行のある小規模多機能施設		
		当施設では職員と利用者が一緒に調理や盛り付け等行い毎回、手作りで季節感のある食材を豊富に使用しており、味も美味しくて好評です。一泊旅行も春と秋年2回実施しており利用者の楽しみの一つになっております。		

第3部門 “食”の工夫で目指す、その人らしい豊かな暮らし
神戸学院大学 11号館2階 112C講義室

16:40～17:05	⑪	老健	リハビリゾート青葉	神奈川県
		しっかり食べて しっかり活動 自分らしく生きるために		
		老いと共に食べる量が減ってくるといわれる高齢者の食生活、今回通所における食事に工夫をこらし食への関心を深め、楽しく食事することにより活動意欲の向上にもつながったので報告する。		
17:05～17:30	⑫	特養(既存)	洛和ヴィラ桃山	京都府
		入居者の想いに耳を傾けて ～『マクドナルドが食べたい！！』～		
		業務中心になりかけていた現状から、ニーズを再アセスメントしその実現の為の取り組みをおこなった。失語症のある方の食に対するニーズの把握と実現に向けた取り組みの結果を振り返り検討したので報告する。		
17:30～17:55	⑬	老健	ウェル青葉	滋賀県
		口腔ケアでいきいきと		
		口腔ケアは全身の健康につながる大切なケアであり、今回、口腔ケアの重要性、個々の利用者に応じた口腔ケアの必要性を再確認するために、日頃より行っている口腔ケアについてまとめました。		

第4部門 これまでの暮らしの継続をたいせつにした生活環境づくり
神戸学院大学 11号館2階 112A講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
		特養(新型)	宝塚ちどり	兵庫県
12:00～12:25	①	そのひとらしい生活環境の創造と提供		
		これまでの暮らしを継続できる様、ご本人・ご家族とコミュニケーションをとり、意見交換を行いつつ、生活環境を創り上げ、落ちついて安心して生活を送れるサービスを提供できるまでの取り組みを研究し発表する。		
12:25～12:50	②	短期入所由活介護	ショートステイセンターつながり	香川県
		在宅とつながる(在宅生活が継続できる)ショートステイを目指して		
		ユニットケアの長所・短所を自己覚知した上で、これまでの暮らし(在宅生活)を継続するために、ユニット型ショートステイの役割について考えます。		
12:50～13:15	③	有料老人ホーム	ケアレジデンス水戸元吉田館	茨城県
		歩けるって素晴らしい！		
		転倒、骨折をきっかけに認知症の進行、車椅子生活となった利用者。リハビリにより、自力歩行で御主人のお墓参りに挑戦した取り組み。		
13:15～13:40	④	地域密着型特養	結いの郷	愛知県
		ご近所付き合いしています		
		開設3年目をむかえ、地域密着型だからこそできるさまざまな人間関係がみえてきました。住み慣れた地域の中で、お年寄りがいきいきと暮らしていけるような取り組みについて発表します。		
13:40～14:05	⑤	特養(新型)	洛和ヴィラ大山崎	京都府
		馴染みの場所に戻れてよかった ～好きなように生活したい～		
		A氏は脳梗塞で入院され、施設に戻られた。麻痺は無いものの食欲や活気がなく、ベッドで過ごされる生活が続いた。利用者が臨む生活とは何かを考え、ユニットで取り組んだ経過と今後の課題について報告する。		
14:05～14:20		休 憩		
14:20～14:45	⑥	特養(新型)	第2サンライフ江南	愛知県
		ノーリフトを活用した自立支援		
		暮らしの継続の為、適度な運動や活動時間の創造をしている。併せて、ベッドなどの機能を活用する事で、介助なしでもベッドからの起き上がりや立ち上がりが行えることがある。今日はこの取り組みを報告する。		
14:45～15:10	⑦	特養(新型)	宝塚ちどり	兵庫県
		暮らしの継続を大切にした居住空間づくり		
		ユニットの居住空間を、それぞれのご利用者様の暮らしをしていた環境を、そのままユニット内で再現したような空間にする。その為にはまず玄関から順番にリビング、居内と順に設えを家庭的な物に整えていく。結果として、その人らしく生活に安心感を与えるような環境作りを実現する。		
15:10～15:35	⑧	特養(既存)	福光園アネックス	岩手県
		つながる		
		ショートステイを利用していても自宅と同じように過ごしていただきたい。福光園アネックスにできることは何かを考え、取り組んできたことを発表させていただきます。		
15:35～16:00	⑨	地域密着型特養	扇の森WEST	埼玉県
		特養でカルチャースクール！ ～楽しみの定着から教育ツールまで～		
		“森のならいごと”というお年寄りが自由に参加するカルチャースクールを施設全体で開講。お年寄りの楽しみの定着。新卒教育にもいい影響が……。2年目として見えてきた気づきについて報告する。		
16:00～16:25	⑩	特養(既存)	かおる園	北海道
		かおる園が朝市を地域住民と共に実施した奮闘劇		
		新十津川町花月という農村地区に位置するかおる園。その地域性を活かした「朝市」を通して町内活動や施設活動にご利用者様、地域住民が気軽に地域交流ができるきっかけ作りの場となった。		

第5部門 介護者家族との協働で実現する、その人らしい暮らし方
神戸学院大学 15号館1階 151J講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
12:00～12:25	①	特養(新型)	大地の丘	愛知県
		「これ洗っていいの？」～家族からの一言で始まった和気あいの暮らし		
		家族との会話の中で家族と支援員の壁がなくなり、洗い物の手伝いやユニット調理、外出などのお誘いも気軽にできるようになり、家族も入居者も安心できる暮らしを報告します。		
12:25～12:50	②	地域密着型特養	扇の森WEST	埼玉県
		地域密着型だからできる！ ～地域・家族との関わりで見えたもの～		
		開設2年目を迎えた扇の森WEST、地域密着型サービス(地域密着型特養・小規模多機能)の運営の中で感じ得たサービスの特性や強み、地域における役割を感じながら実践してきた内容と気づきを発表します。		
12:50～13:15	③	老健	リハビリゾート青葉	神奈川県
		老健施設に期待されていること		
		老健施設は生活機能の維持・向上をめざす施設であるとともに、地域に開かれた活動を求められている。ご利用者家族にとどまらず地域と一体になって取り組んだ活動を紹介する。		
13:15～13:40	④	病院	西香川病院	香川県
		ありのまま奮闘記 ～アルツハイマー型認知症発症から11年目の今～		
		Aさんは現在認知症の進行に伴い、自分の想いを上手に伝える事が出来ず、手も足も出して表現してしまう。ATD発症10年の今、人生最後をどう支援していくか……。Aさんを含め、ユニットの患者さんが毎日落ち着いた環境で気持ち良く過ごし、いずれは退院していく本来のあり方に奮闘した物語について報告する。		
13:40～14:05	⑤	特養(既存)	健生園	岡山県
		利用者と家族と歩む		
		ご家族の温泉旅行を通じてニーズのあり方の確認。また、プロとしての自覚を持つ事例。		
14:05～14:20	休 憩			
14:20～14:45	⑥	地域密着型特養 小規模多機能	結いの郷 小牧	愛知県
		ありのままに、その人らしく暮らす		
		日常の支援や関わりの中で入居者それぞれが持つ小さな願い。それに気づき、ご家族と共有し、本人とご家族の想いを大切に、ご家族と協力をしながら実現に向け取り組んでいる事例について。		
14:45～15:10	⑦	特養(既存)	寿光荘	岩手県
		「私らしいこと」		
		「その人を知りたい」という想いから、「シグナルサイン」の発見。3年半の取り組みについて、報告いたします。		

第6部門 認知症の方とのコミュニケーションの工夫
神戸学院大学 15号館1階 151I講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
12:00～12:25	①	特養(新型)	西ノ京苑	奈良県
		Nさんとの向き合い方		
		Nさんの発言や行動にはどのような思いが込められているのかそれぞれの関わりを通して考察していく中で、発見や気づきを得てNさんの生活を見直す。		
12:25～12:50	②	病院	三豊市立西香川病院 重度認知症患者デイケア「グードリブ」	香川県
		逢いたくて…… ～わたしの心の声～		
		今回の症例であるAさんはデイケア利用前より幻聴、妄想といった症状があった。デイケアを利用してからも症状は頻繁に現れていた。その裏にはAさんの亡くなった夫への熱い想いが隠されていた。夫への想いとはどのようなものなのか。Aさんとの関わりやその中での気づきを報告する。		
12:50～13:15	③	地域密着型特養	第二双葉苑	福岡県
		お年寄りから教わった聴く姿勢		
		今までは職員による職員の為のコミュニケーションを行ってきたが、ある認知症のお年寄り同士の会話から、本当に聴く事とは何か教えていただいた。聴くことの本当の意味や聴く姿勢の力をひもといてみたいと思います。		
13:15～13:40	④	特養(新型)	ナーシングケア加納	岐阜県
		「うれしい、楽しい、落ちつくなあ」～ダイバーショナルセラピーで生活意欲の向上を～		
		昨年度からダイバーショナルセラピーを導入し、入居者、家族と向き合いながら、入居者が歩んできた暮らしを知ること で、「うれしい」「楽しい」「落ちつく」を引きだし、生活意欲の向上を目指した。そのセラピーの導入から取り組み実施を発表する。		
13:40～14:05	⑤	地域密着型特養	大宮フロイデドルフ	茨城県
		ありのままの笑顔を引き出すコミュニケーション ～利用者を心から温めるケアを目指して～		
		言葉でのコミュニケーションが出来ない利用者との関わりを通して、素直な笑顔や安心感また不安感の解消を目指した認知症ケアに取り組んだ事例について報告します。		
14:05～14:20		休 憩		
14:20～14:45	⑥	地域密着型特養	五色・サルビアホーム	兵庫県
		認知症になっても「私らしく生きたい」～一人の人を見つめて～		
		レビー小型体型認知症を患っている一人の方がBPSDの症状により生活の中で不安が生じている。ユマニチュード等のコミュニケーションツールを使用して生活の変化を調べ、不安の原因を探ってみた。		
14:45～15:10	⑦	特養(既存)	博愛の園	大阪府
		個性を大切に		
		Iさんが博愛の園に入所して約2年。日々の日常生活で本人のしたいことや大切にしていることを守り、本人のペースで過ごせるようにコミュニケーションを図りながら援助していきたいと思ってます。		
15:10～15:35	⑧	老健	アネシス兵庫	兵庫県
		不安を安心に		
		入所されたばかりの利用者様の施設での生活で生まれる不安の緩和。おだやかな毎日を送れる安心した生活を目指し、ケアを検討していく。		
15:35～16:00	⑨	特養(既存)	松楽苑	島根県
		認知症の方のレクリエーションのあり方について		
		チームケアの中でグループ編成しレクリエーションを通して利用者同士の関わりから学んだことがあったのでここに報告します。		

第7部門 ターミナルケアから学んだこと、考えたこと、伝えたいこと
神戸学院大学 11号館4階 114B講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
		特養(既存)	せいりょう園	兵庫県
12:00～12:25	①	ターミナルケアを通して介護職員が感じ、学んだ軌跡		
		せいりょう園ユニット型特養の紹介。入居者を最期まで施設で看取りを行ってきた経験。御家族と介護職員が一丸となり、その看取りを体験した事で感じ学んだ成長の軌跡。		
12:25～12:50	②	老健	聖ルカ苑	熊本県
		「終末期における在宅復帰 ～S氏の思いに寄りそって～」		
12:50～13:15	③	特養(新型)	けま喜楽苑	兵庫県
		特養という“普通の暮らしの場”での看取りについて		
13:15～13:40	④	老健	きのこ老人保健施設	岡山県
		「ただいま！！」～ここで生きていく～		
13:40～14:05	⑤	地域密着型特養	いやさか苑	兵庫県
		利用者視点から見た本人らしさや看取りの研究 ～特別養護老人ホーム いやさか苑の取り組みを通して～		
14:05～14:20		休 憩		
14:20～14:45	⑥	地域密着型特養	ジロール麹町	東京都
		ご家族との看取りから教えてくれたこと		
14:45～15:10	⑦	病院	西香川病院	香川県
		お母ちゃんの居場所 ～私たちは不幸じゃない～		
15:10～15:35	⑧	特養(既存)	ひかりの園	熊本県
		本人の声に動かされて		
15:35～16:00	⑨	特養(新型)	ビハーラ十条	京都府
		ターミナルケアを通じて学んだこと		
16:00～16:25	⑩	特養(新型)	野桑の里	兵庫県
		施設のなかで家族と一緒に看取る		
		「看取りとはいったい誰のためのものなのか……」そんな疑問から出発した現在の私たちの看取りケアを発表。		

第8部門 一人ひとりの暮らしを支えるためのチームケアや多職種との連携
神戸学院大学 11号館3階 113A講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
12:00～12:25	①	特養(新型)	今羽の森	埼玉県
		多職種連携による新たな移乗方法の導入と腰痛予防への取り組み		
		福祉機器を活用し既存の移乗動作を見直すことで新たな腰痛者の予防、痛みの軽減を目標に介助方法の選択肢を増やし入居者・介助者の双方に適した移乗が行えるよう多職種が連携し導入・実施を試みた。		
12:25～12:50	②	特養(既存)	園田苑	兵庫県
		在宅生活を経て施設入所、そして住みなれた地域へ戻るために		
		在宅サービスを受けながら、住みなれた場所で過ごしてきた利用者が、様々な理由で入所となり、入所しながらもどんな状態になっても再び住み慣れた場所(地域)で過ごすことを「逆ホーム」と命名した取り組み。		
12:50～13:15	③	特養(新型)	ハーモニーハウス	福島県
		ハーモニー式日めくりカレンダー ～基本的介護の共有と強化のために～		
		施設理念を生かした介護の基本を、職員全員が共有することを目的とした日めくり式のシートを作り、一番誰もが目につくところに置いた。繰り返し学習することにより、その方に合わせた介護が、職種を越え、円滑になった。その取り組みを報告する。		
13:15～13:40	④	地域密着型特養	いやさか苑	兵庫県
		実践から見えた専門職の役割について ～地域密着型特別養護老人ホーム いやさか苑の取り組みを通じて～		
		専門職としての職員の役割を確認し、円滑な施設運営ができるように行った職員アンケートで明らかになったことを報告します。		
13:40～14:05	⑤	特養(既存)	おおみや苑	京都府
		一日一日のケアを大切にする		
		私達スタッフはご利用者の方が日々健康で穏やかに暮らして頂く為に、出来ていない事を見直しました。多職種との連携で、日々のケアの大切さを改めて学ぶことが出来ました。その取り組み事例を発表いたします。		
14:05～14:20	休 憩			
14:20～14:45	⑥	特養(新型)	おきな杜	福岡県
		褥瘡を治そう！		
		ある住民様の褥瘡を治す目的でスタッフ全員が意見を出し合い実践した結果、治癒に至った事例を報告します。その過程で統一したケアが行えたこと、工夫したこと、絆が深まったこと、つらい時を乗り越えたこと、感動したことを伝えます。		
14:45～15:10	⑦	特養(既存)	西ノ京苑	奈良県
		Tさんが施設でも自由に生活出来るように		
		糖尿病を持つTさんは管理された生活をされていました。Tさんが施設の中でも好きなように生活をしてもらいたい為に、現場職員と多職種が連携をとる事で本人が望む生活に変わった事を発表します。		
15:10～15:35	⑧	特養(既存)	千鳥会ゴールド	兵庫県
		スキルツリー第2弾 ～ご利用者の支えになるために～		
		スキルツリーのケアの考え方や技術を学び、ご利用者にケアをすることによってご利用者の表情や身体はどう変化するか、また職員への水平展開した事によって職員の意識や姿勢はどのように変化するかについて発表します。		
15:35～16:00	⑨	老健	リハリゾート青葉	神奈川県
		一人の気づきは皆の気づき ～意見を言い合える環境づくり～		
		様々な立場の職員がそれぞれの気づきや意見をもって共に働いている。その中でいかにそれらを共有できるかどうか、個別ケアをよりよくしていくための鍵となる。施設内で意見を言える環境を作るためのグループワークを行った。		
16:00～16:25	⑩	特養(新型)	寿山荘那須	栃木県
		『ここは、夜に入れねえのか?』からのスタート！		
		入居者様からの「夜に入りたい」の一言で、取り組み始めた夜間入浴をきっかけに、入居者様・スタッフ(チームケア)にもたらした相乗効果。チームケアを行う上での意識の変化について。		

第8部門 一人ひとりの暮らしを支えるためのチームケアや多職種との連携
神戸学院大学 11号館3階 113B講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
12:00～12:25	①	特養(新型)	もみじ館	茨城県
		笑顔を取り戻そう ～入居当初からみられた精神的な落ち込みに対する取り組み～		
		入居に伴い環境の変化で、気分的な落ち込み、意欲低下により情緒不安定が見受けられた対象者に対し、ここでの生活に楽しみを見いだして欲しいと考え、笑顔を取り戻すためにできることを目標にリハビリの介入した事例。		
12:25～12:50	②	特養(新型)	静和園	島根県
		集うチカラ ～お抹茶会を続けてみて～		
		お一人の方の生きがい支援として始めたお抹茶会。チームで連携し、お抹茶会を継続してきた結果、他のご利用者様の持てる力を引き出し、主体的参加の実現にもつながりました。その経過を発表します。		
12:50～13:15	③	特養(新型)	丹寿荘	兵庫県
		特別養護老人ホームにおける褥瘡への対応		
		褥瘡を患った利用者に対し、医師と連携して対応すると共に日常生活の中で行う予防への取り組みを報告する。		
13:15～13:40	④	特養(新型)	第2ジョイフル江南	愛知県
		「ヘルシーエイジング 心も身体も健康に」		
		心も身体も健康に歳をとる。その為には何をすれば良いのでしょうか。生活の中で今ある力を活かしていく為に私達が取り組んできたアクティブリビングの報告をします。皆さんは『アクティブリビング』を知っていますか？		
13:40～14:05	⑤	特養(既存)	御前山フロイデガルテン	茨城県
		利用者一人ひとりが楽しく過ごせる生活支援とは？		
		ご利用者様は様々な障害により生活に不満を持っています。レクリエーションを通して前向きで明るい気持ちを持ち、更に多職種と連携をしリハビリを行うことで体力面、生活面で効果が認められたので発表いたします。		
14:05～14:20		休 憩		
14:20～14:45	⑥	特養(新型)	たじま荘	兵庫県
		「ご飯が食べたい」から始まった経口摂取への取り組み ～食べる楽しみをとりもどす～		
		平成26年9月現在、たじま荘における食事の経口摂取は110名中106名で、経管栄養の利用者は4名である。その中の1人の利用者から「ご飯が食べたい。」との希望を受け、看護師、管理栄養士、ケアマネ、生活相談員、介護職員が連携して、再び「食べる楽しみ・喜び」を取り戻すに至った経口摂取への取り組み。		
14:45～15:10	⑦	特養(新型)	ジョイフル名駅	愛知県
		むくみの改善を目指す		
		入居者様のむくみに着目し、どういったアプローチを行えば改善していけるのか検討し症状の変化を計測し効果測定を行った。		
15:10～15:35	⑧	病院	三豊市立西香川病院 重度認知症患者デイケア「グードリブ」	香川県
		出来るはずの自分が…早発性アルツハイマー病との闘い		
		早発性アルツハイマー病の診断を受け、教員という仕事を持っている状態で当院デイケアを利用することになったAさんに対し、本人の立場を考えどのような活動提供をするべきか？どう過ごしてもらうべきか？不安や失敗体験の連続の中で本人の本当に求めているものを知るための様々な関わりについて報告する。		
15:35～16:00	⑨	特養(新型)	HOME TOWN コスモス	福井県
		拘縮のある方の簡単リメイク服		
		拘縮のある方が年々増加しており、衣服着脱の際の骨折等の危険が高まっている。そこで、その方の身体機能に合った安全・安楽な衣服、しかも介護技術力に関わらず誰でも着脱しやすい衣服の検討を行ったので報告する。		

第8部門 一人ひとりの暮らしを支えるためのチームケアや多職種との連携
神戸学院大学 11号館3階 113C講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
		特養(既存)	博愛の園	大阪府
12:00～12:25	①	安心して暮らせる環境づくり		
		日中、夜間問わず、あまり座ることなく歩かれている方に対し、その方にとっての落ちつける空間、安心できる場所とは何かを考えました。歩くことに対して止めることはしないが、少しでも安心してくつろげる場所を探しています。		
12:25～12:50	②	老健	洛和ヴィラサラサ	東京都
		在宅復帰への取り組み ～在宅復帰に向けての本人・家族の思いに沿う支援～		
12:50～13:15	③	特養(既存)	山科苑	京都府
		花咲かせようプロジェクト		
13:15～13:40	④	特養(既存)	サンビレッジ新生苑	岐阜県
		「歌いたい」との声から始まった支援		
13:40～14:05	⑤	特養(既存)	清洲の里	愛知県
		生活のあり方を見つめ直す		
14:05～14:20	⑥	地域密着型特養	ひかりの園 指月館	熊本県
		ひかりの園入居者自治会「わし等のことはわし等が決める」～入居者自治会活動を通してM様の自律をサポートする～		
14:20～14:45	⑦	特養(既存)	あいぜんの里	岩手県
		想・創・添 我ら Treasure Hunter		
14:45～15:10	⑧	老健	伊賀ゆめが丘	三重県
		職種間のチームワークにより施設生活が改善された一事例		
15:10～15:35	⑨	特養(既存)	博愛の園	大阪府
		10年ぶりに特養に戻って		
15:35～16:00	⑩	特養(既存)	福光園	岩手県
		「介護と医療の狭間で」～チームとしてご入居者様と関わること～		
16:00～16:25		開設から5年が経過し、ご入居者様の重度化が進む中、病院との連携、より医療的なケアが必要とされている現状。多職種との連携を通してチームケアを行った取組事例をご紹介します。		

第9部門 施設の人材確保、初任者の育成と支援の方法
神戸学院大学 11号館4階 114B講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
		特養(新型)	ジョイフル多治見	岐阜県
16:40～17:05	⑪	ジョイフル多治見 職員指導のあゆみ ～やる気になる木～		
		開設2年目の施設の為、介護経験が少ない職員が多いなか、職員一人一人のやる気を引き出せるよう、施設全体で、職員育成に取り組んできたあゆみです。		
17:05～17:30	⑫	老健	リハビリゾート青葉	神奈川県
		高齢者施設における職業的ストレス調査から見えてきたこと		
		高齢者施設に従事する職員は多岐にわたるストレスにさらされていると言われている。今回、その実態を調査することにより見えてきたストレスの特性から、職場環境の改善へとつなげた過程を報告する。		
17:30～17:55	⑬	特養(新型)	ジョイフル千種	愛知県
		はじめの一步 ～より教えやすく成長できる環境への歩み～		
		教育をする側、教育を受ける側の双方が、より効果的でゆとりのある教育方法を確立できるように職員の育成方法を工夫しました。その結果、双方ともに感じていたストレスが軽減され、職員の定着につながりました。		

第9部門 施設の人材確保、初任者の育成と支援の方法
神戸学院大学 11号館4階 114C講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
		特養(既存)	御前山フロイデガルテン	茨城県
16:40～17:05	⑪	勤務体制変更 ～顧客満足度向上及び職員の負担軽減を目指して～		
		今までの10時間の夜勤を廃止し、8時間夜勤に移行したことにより、日勤帯の人員の確保ができたことにより、生活リハビリと余暇活動の充実を目指した取り組みについてご報告させていただきます。		
17:05～17:30	⑫	賃貸集合住宅	エルキューブ八山田	福島県
		介護人材の確保 ～介護職員初任者研修事業への取り組み～		
		L-CUB八山田で運営している事業の中で介護人材の創出事業として介護職員初任者研修事業を運営しております。これまで1000人以上の卒業生が福祉の現場で活躍されています。取り組みについてご紹介致します。		
17:30～17:55	⑬	特養(新型)	和里(にこり)	奈良県
		ノベルティグッズを用いた求人活動における効果		
		求職者が魅力を感じ、応募から採用へとつながる求人活動を展開していく取り組みと「カフェテリアプラン(選択型福利厚生制度)」など導入による職場の環境づくりを発表します。		

第10部門 ユニットケアを支えるスタッフの育成、工夫したこと、苦労したこと

神戸学院大学 15号館1階 151M講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
		特養(新型)	こもれび	静岡県
12:00～12:25	①	スタッフの意識を変えた！ ユニットケア実行委員会の活動報告		
		形にとらわれ、広がりを見せない自施設のケアを打開するため、ユニットケアの専門委員会を設置。「思いに気づけばケアが変わる」をテーマに活動し、スタッフの意識を変えた2年間で報告します。		
12:25～12:50	②	特養(既存)	おおみや苑	京都府
		ご利用者により良いケア、第一歩は自分達を見直すことから始まった		
		「ご利用者に良いケアを」と考えたが、現状は職員の体調不良による欠勤、ケアに対する温度差等で負担が一定の職員に片寄っていた。ユニット勉強会、情報共有の見直し、自己目標達成資料シートに取り組み、改善を図った事例報告。		
12:50～13:15	③	特養・養護	ユニットIN北京都(五十鈴荘・いちがお園・おおみや苑・丹後園・第二丹後園・虹ヶ丘・特養満寿園・養護満寿園)	京都府
		×→○へ厳しいことを言ってもらわないとできないこともある		
		今までの取り組みから○→◎も大切だが、×→○へできていない部分を再確認して改善していく。8施設が相互評価を受け、各施設の改善に向けた取り組み、職員の变化や工夫、苦労したこと、入居者様の様子、今後の課題。		
13:15～13:40	④	特養(新型)	大地の丘	愛知県
		その人らしさを大切に ～安心した暮らしの継続～		
		開所当初、ユニットケアとは？から始まり形だけのユニットケアに取り組んできました。しかしリーダー研修を受け「このままでいいのだろうか」入居者にとって暮らしの継続とは・・・支援員の目線に合わせている状態でした。そのため委員会を立ち上げリーダーと支援員のユニットケアに対する温度差を埋めるべくユニットケア研修や育成、その中での苦労を発表したいと思います。		
13:40～14:05	⑤	特養(既存)	笑寿苑	島根県
		ユニットケアへ9年目の再スタート ～ユニットケアへの思いを一つに～		
		ユニット型が出来てから9年が経ち、当初からの職員や入居者が変わりユニットケアについて見直しと改善を行った。		
14:05～14:20		休 憩		
14:20～14:45	⑥	特養(新型)	和里(にこり)	奈良県
		顧客満足・経営満足・職員満足の3つの視点で和里(にこり)職員としてのあり方を考える		
		認知症ケアマッピング、排泄物品の見直し、やりがい等に関するアンケートなどからユニット職員としてのあり方を考える。		
14:45～15:10	⑦	特養(既存)	扇の森	埼玉県
		一人で悩むケアからチームケアへ ～“帰る”が扇の森を変える～		
		多忙な毎日に疲弊した現場、そんな現状を変えた充実感を持ちここで働きたいという職員の強い思いから始まった業務改善！それまで現場に蔓延していた自己犠牲的な考えを一掃したチームケアを報告する。		
15:10～15:35	⑧	特養(新型)	ありすの杜きのこ南麻布	東京都
		自ら考え、行動するきっかけをつくる ～中堅職員への種まき～		
		他施設見学や軽井沢での宅老所の運営を通して、なにかを教えるのではなく考える時間をつくることでスタッフそれぞれがきっかけを掴み、現場での実践に結び付けることを目指した中堅職員研修に取り組んだ。		

特別部門 思いのままに実践発表(ショート枠10分)
神戸学院大学 11号館3階 113A講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
		小規模多機能型 居宅介護	いろどり二の宮	福井県
16:40～16:55	①	利用者様から学ぶ ～私達が変われば相手も変わる～		
		1日中ソファーに座り、寝ている状態で、全く動く事がない利用者様がおられた。起こせば眠いと怒る。このままではいけないとケアの見直しを行う。そこで、私たちの関わり方の大切さを利用者様から学ばせて頂いた。		
16:55～17:10	②	老健	洛和ヴィラアエル	京都府
		「ご飯が食べたい」経管栄養から経口摂取を目指して		
17:10～17:25	③	当初は3食注入食であったが、家族の意向や本人から「ご飯が食べたい。」との事もあり、他職種と連携、相談して徐々に食事のレベルアップを図り、本人と家族と共に食事の経口摂取を目指していく。		
		特養(既存)	博愛の園	大阪府
17:25～17:40	④	さんりく園から学んだこと		
		6月～8月と一ヵ月交代で3名の職員が特別養護老人ホーム「老人ホーム三陸園」へ研修をしに派遣する。そこで、大阪では体験出来ない事を学ぶ。東日本大震災による沿岸部の津波の災害、その当時の状況を現地へ出向き自分の目や耳で体験したレポートである。		
17:40～17:55	⑤	ショートステイ	グレイスフル上前津	愛知県
		レクリエーションでショートステイの満足度向上		
		レクリエーションを通じて、利用者様同士の交流を深め、新規の方でも馴染みやすい環境作りへの取り組み報告。		
		老健	伊賀ゆめが丘	三重県
		ターミナル期に食事摂取を中心に関わった家族ケア		
		嚥下機能が低下した状態でも、1口でも食べられる事を希望した家族と共に考え関わったこと。		

特別部門 思いのままに実践発表(ショート枠10分)
神戸学院大学 11号館3階 113C講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
		特養(新型)	グレイスフル上前津	愛知県
16:40～16:55	①	職員一人一人の意識で変わる節電対策		
		生活する上で必要不可欠な電気を無駄使いせず少しでも節電が出来るよう職員の意識改革から取り組みを行った。		
16:55～17:10	②	特養(既存)	なごみ	大阪府
		入居者さんの暮らしに充実を！！ ～職員のユニット固定化と体制変更～		
17:10～17:25	③	今年の7月よりバラバラの配置であった職員体制からユニット固定、勤務の見直しを行い実施した。そこからみえてきた入居者さんの暮らしの変化や職員の支援の課題をまとめ、更なる暮らしの充実化を目指している。		
		特養(既存)	恵の丘長崎原爆ホーム別館	長崎県
17:25～17:40	④	ユニットの枠を越えた施設全体での認知症ケアの取り組み		
		BPSDによりユニットでのケアが困難となっている利用者様を対象に日中落ちついて過ごせる空間づくりとBPSDの背景要因に目を向けたケアを行う為、施設内の環境を利用したデイサービスの実践報告。		
17:40～17:55	⑤	特養(既存)	西ノ京苑	奈良県
		ショートステイ利用のお年寄りのニーズにこたえるケア		
		気づきシートを用いて、お年寄りとの会話の中から聞き出した、個々の思いや些細な行動で気づいた事を職員と共有しケアに繋げる -実践「を」報告- します。		
		特養 (既存／地域密着型)	社会福祉法人 緑新会	熊本県
		開設から20年を一つの節目としこれからの20年へ		
		人口減少のなか職員不足etc……20年後を考えまず何をすべきか地域とどう関わっていくのか……。		

ポスター展示・説明:自由テーマ
神戸学院大学 11号館1階 総合受付前

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
		老健	洛和ヴィライリオス	京都府
12:00～17:55	①	「いつまでも笑顔で」～チームケアで利用者・家族のニーズに応える～		
		チームでケアを立案し実践したことでADLが改善し本人だけでなく家族にも良い変化があった。今回の事例をもとに自分たちの支援を振り返り、利用者の状態の変化とその要因を考案し今後の課題について検討する。		
		特養(既存)	あいぜんの里	岩手県
	②	児童における認知症サポーター養成講座の優位性		
		「認知症の正しい理解を地域に広めよう」を合言葉に、職場の有志で結成した劇団認知症お助け笑激暖、地元小学校で行った認知症サポーター養成講座で得た成果と課題についてを報告。		